研究

【QR コードを読み込むと論文(全文)が閲覧できます】

30 by 30 目標による生物多様性の保全～西松建設の取り組みと国内の動向～

Conservation and sustainable use of biodiversity to achieve 30 by30: Area-based management in Japan and Nishimatsu's initiative

▶キーワード：30 by30，生物多様性，自然共生サイト

宮岡伶安*
地井直行*
正島康博**

*技術研究所環境技術グループ　**地球環境部環境戦略課

概要

30 by 30 目標の達成に向けた動きの一環として，2023 年度から，民間の生物多様性保全活動に対する「自然共生サイト」の認定制度が始まった. 西松建設では, 2024 年度に社有林「西松しおや共生の森」が自然共生サイトの認定を取得するとともに, 技術研究所の敷地に整備したビオトープ「中津クロスポイント」による生態系の創出にも取り組んでいる．本稿では，これらの取り組みの背景と概要を紹介するとともに，自然共生サイトの傾向に関する調査結果を報告する.

成果

○西松建設では自然共生サイトを通して 30 by 30 目標達成に貢献している.
○自然共生サイトの傾向に関する調査から，自然共生サイトを利用する団体と活動の傾向，認定されたサイトが持つ特性の傾向が明らかとなった.
○本調査により，自然共生サイトの一連の手順によって，民間等による生物多様性の保全が促進されていることが明らかとなった.

写真―1 スギを中心とした混合林
（西松しおや共生の森）

写真―2　ヒノキの二次林
（西松しおや共生の森）

写真―3　水辺とその周辺の環境
（中津クロスポイント）

写真―4　シオカラトンボ雄
（中津クロスポイント）